市内事業者の皆さんへ

登別ブランド推奨品に応募しませんか

登別ブランド推奨品は、登別の豊かな自然や文化から生み出される製品の中でも特に優れた、まちをあげておすすめする逸品です。

認定を受けるには、産地などの基準に達していることを審査会で認められる必要があります。

認定を受けると、認定された商品やパンフレットなどに、登別ブランド推奨認定マーク『鬼のイチオシ』を貼付・印刷できます。

また、認定を受けた事業者は『登別ブランドの会』へ入会し、商品のＰＲや販路拡大、事業者間の連携などに努めていただくほか、補助金の条件の優遇や雑誌、ウェブ媒体などでの周知が行われます。

申込方法　11月２日㈪～30日㈪に指定の申込用紙に関係書類を添えて登別ブランド推進協議会事務局（中央町４丁目11・商工労政グループ内・☎㉟２１７１）に提出

※詳しくは同協議会ウェブサイトをご覧ください。

●応募できる方

市内に事業所を有している事業者

●対象となる商品

主な原材料が市内で生産・採取されている加工食品

※市内で生産・採取できないものに限り、北海道産も対象とします。

●その他の認定基準

- 登別のイメージ向上につながり、他の地域と比較して品質や食味、価格などの面で優れていること
- 安定的・継続的な生産体制となっていること
- 表示や生産・販売方法などが法令に基づき行われていること
- 登別ブランドの普及や認知度向上、他事業者への波及効果が期待できること

●応募できる品数

１事業者につき２品まで

男女共同参画フォーラム2026

『自分らしい働き方は、自分でつくれる』
～アナウンサーから経営者へ、私が選んできた道～

日時　11月７日㈯
13時30分～15時
※13時から受け付け。

場所　市民会館

講師　国井美佐（くにいみさ）さん
（元ＨＴＢ北海道テレビアナウンサー）

定員　100人

申し込み　11月６日㈭までに申し込みフォームか電話で市民協働グループ（☎㉟２１３９）

『鬼っ子フォーラム』を開催します

市内小中学校、中等教育学校、高等学校から児童生徒の代表が集まり、命の重さや人としての生き方、人との関わりについて考える『鬼っ子フォーラム』を開催します。学校でのいじめ防止の取り組みを発表するほか、『いじめをなくすために自分ができること』やトークセッションを行います。また、室蘭工業大学大学院の清末愛砂（きよすえあいさ）教授による基調講演などを行います。

日時　11月12日㈭
15時～17時

場所　市民会館

問い合わせ　学校教育グループ（☎㊽１１６２）

第28回 チャレンジ!! ゼロカーボン

キッチンで省エネしませんか？

問い合わせ　環境対策グループ（☎㉟２９５８）

家庭の電力消費量のうち、冷蔵庫が約15㌫、電子レンジや炊飯器、電気ポットなどの炊事関係で約６㌫と言われており、キッチン周りでの電力消費量はかなりの割合を占めています。家電製品を上手に使えば電気代の節約や二酸化炭素排出量を削減することができます。毎日の生活で身近にできることから省エネ対策を始めてみましょう。

暮らしのメリット～冷蔵庫編～　　経済産業省北海道経済産業局発行『実践！おうちで省エネ』より

●壁から離すだけでも省エネに

上部左右に５～10㌢㍍の間隔を空けましょう。

放熱がスムーズに行われて冷却効率低下をを防げます。

●詰め込みすぎ厳禁

冷蔵庫内の物の量を半分にすると、詰め込んだ場合と比べて、年間の電気は約40㌔㍗時の省エネとなり、約1,500円の節約効果があるとされています。

引出式冷凍庫の場合は逆に隙間無く食品を入れることで、食品同士が保冷し合うので省エネ効果がアップします。

●開ける時間は短めに

むやみに開閉をすると冷気が逃げてしまい、余分に電力を消費します。

●季節に合わせた温度調整を

部屋の気温22℃のとき、設定温度を『強』から『中』にすると、年間の電気は約62㌔㍗時の省エネとなり、約2,200円の節約になります。

設定温度の『弱』は、冬の間、部屋の気温が低いときに有効です。扉を開ける回数・時間をできるだけ減らし、食品を詰め込みすぎないようにしましょう。

なお、食品の傷みにはご注意ください。